

日本一の干し大根と大根やぐら日本農業遺産推進協議会

地域のシンボル！干し大根と大根やぐら！



農業体験者とやぐらの下で昼ごはん ログマーク(右上)

取組概要

- 大根やぐらと干し大根を「地域資源ブランド」として全国に発信するため、当協議会をH29年に設立。シンボルマークを一般公募し、ホームページを開設。期間限定で開催する夜間のやぐらライトアップ等の情報を発信。
- 講演会、出前講座、農業体験を開催し、干し大根の生産者の農法について紹介するとともに、地域内外に向けてその魅力や価値を広く発信。

活動成果

- ホームページや地元情報誌、テレビ取材等のメディアを通じた広報活動により、宮崎市内外からの知名度が上昇し観光客が増加。
- 本地域で生産された大根は地域内の企業により加工・販売される地域ぐるみの6次産業化のシステムが構築されており、当協議会の活動により、干し大根や漬物についての問合せ件数が増加。地域全体に経済効果が生まれている。

日本一の干し大根と大根やぐら日本農業遺産推進協議会

宮崎県宮崎市田野町甲2818番地

Tel: 0985-86-1114

Fax: 0985-86-1987

とくしげこうばいえん 有限会社 徳重紅梅園

無農薬生産、無添加加工品を消費者へ直販



大淀川源流傾斜地に広がる、25年生の梅園



大根占生産組合の発足会



草生栽培の草刈り。年に6～8回行う

取組概要

- S37年より梅の有機栽培に着手。S48年頃から加工販売に取り組み。H元年より大淀川源流域で梅園を拡大。
- 梅の栽培は有機肥料主体で、徹底した草生栽培で土作り。青梅は伝統の無添加により梅干、梅肉エキスに加工。
- H5年以降、取組が度々全国報道。報道を見た大根占町の梅生産者グループから要請を受け有機栽培を指導。青梅を買い取る等支援。

活動成果

- 梅園の造成で大淀川源流の集落の過疎化対策と景観保全・自然保護に貢献。周辺にも植林が進展。
- H5、H9、H14、H29年にNHK等で全国報道され、多くの顧客を確保。無添加の梅加工品は全国の顧客から高く評価。発送商品の緩衝材として、自家生産の有機野菜を同封し、有機栽培の良さを全国に発信。
- 大根占グループはH25年に組合結成。

有限会社 徳重紅梅園
宮崎県都城市平塚町9825番地

Tel :0986-22-6325 Fax :0986-22-2809

農事組合法人きらり農場高木 生活部加工班

“キラリ”と輝く 大地の恵み



展示商談会へ積極的に参加／九州山口展



加工施設「きらり夢工房」



加工班メンバー

取組概要

- 平成18年より集落営農の加工班として農産加工を開始。郷土料理「がね」を手作りする家庭が減少する中、「おから入りがね」を商品化。
- 里芋・トマト・かぼちゃコロッケなどの惣菜類、「あわせ味噌」「完熟トマトみそ」「都城ゴボウみそ」などの商品を開発。
- 食材の殆どを集落営農の農産物を使用。販売はJA関連施設での店頭実演販売の他、展示商談会や催事、販路開拓関係行事に積極的に参加。

活動成果

- 食文化の伝承をしながら売上げは着実に増加(H29年は約1600万円)。また、商品開発、販路開拓に向けた加工食品や販売戦略の知識習得などが、班員のやる気を引き出し、法人そして地域全体の活性化へと波及。
- 地元農業高校の生徒を対象とした農産物の収穫体験、農産物加工の実習、保育園児を対象とした出前食育講座も実施。将来を担う子供たちや若手の育成に大きく貢献。

農事組合法人きらり農場高木 生活部
宮崎県都城市高木町6849-1

Tel : 0986-38-6246 Fax : 0986-38-2442

みやこのじょうみ また

都城三股農福連携協議会

これまでにない「農の福祉活用」の農福連携



介護施設にも共働農園を設立し、リハビリを開始



協議会設立記者会見



病院の共同農園で小麦播種。生産者、介護施設、医療機関が参加

取組概要

- 「農の福祉活用」による事業を推進するため、農業者、介護施設、医療機関によりH29年に本協議会を設立。
- 高齢農業者の認知症などの早期発見や「生きがい」を継続できる介護システム、治療プログラムの確立に向け、病院や介護施設内に農園を開設し、軽度の農作業によるリハビリテーションの治療実験をH30年に実施。

活動成果

- 治療実験の成果は認知症学会などで発表予定。複数年で、治療プログラムを確立し、協議会で「農福リハビリテーション」の知的財産化を行い、全国での展開を目指す。
- 「農福リハビリテーション」の確立により、農業者が、病院・施設に入っても生涯、一次産業との繋がりをもって生きることができ、家族も安心して、施設や病院に預けることが可能となる。

都城三股農福連携協議会 担当：事務局長 岡元

宮崎県都城市八幡町14-25

Tel: 090-9854-3319

Fax: 0986-77-6740

OMUNIBUS (オムニバス)

障がい者を含め多くの人が集う農業を目指す



耕作放棄地活用しゴボウ作付

ゴボウの間引き作業

小型ハウスでのオクラ栽培

取組概要

- 代表は、農家名のオムニバス(集合体)のとおりに、雇用により多くの人に従事する農業を目指し、H27年に就農した青年農業者。
- 自作地及び耕作放棄地の再生により水稲、水田ゴボウ等の生産に着手。ゴボウの収穫作業等を地元の就労継続支援事業所に作業委託。
- 通年就労できるよう水稲をオクラに転換。裏作借地でゴボウを拡大。

活動成果

- 障害者は、単純な作業を一生懸命行ってもらえる大事な戦力であり、農家の規模拡大(H27の1.5haからH30は6ha)に貢献。
- 利用者は楽しく作業に従事。年間を通して就労の場が確保されたことにより、工賃向上に結びついている。
- 農家の規模拡大で利用者はH27年の3人からH30年は5人に増員。支援員も1人から2人に増員。

OMUNIBUS (オムニバス)

宮崎県日南市大字東弁分甲1037-1

Tel: - Fax: -

さかたに

さかたに

酒谷むらおこし株式会社（道の駅酒谷）

小さな村の大きな挑戦！酒谷の宝ここにあり



酒谷の宝 日本棚田百選「坂元棚田」



茅葺屋根と自在カギが目印



売上2千万円以上の草だんご

取組概要

- H9年、直売所がオープン。H11年より道の駅登録。同施設の管理運営協議会が母体となって当社を設立。全株主27名は地区住民。
- 道の駅で販売する人気商品「草だんご」の原料のよもぎは全て地元産、食堂で提供する米も「坂元棚田」産を用いるなど可能な限り地元産にこだわり販売。
- 「雇用は地元から」との方針で、駅長を含め道の駅スタッフ全員が女性で、その殆どが地元雇用。

活動成果

- 人口約1,000人、高齢化率50%を超える中山間地の道の駅に毎年約20万人が訪れ、売上も1.6億円程度で安定し、地区に活気が戻った。
- 地元雇用は、所得の向上はもとより、地元愛が強い住民が働くことで道の駅や地区の活性化につながった。
- 女性主体の職場は、気配りとおもてなしで和やかな雰囲気。高齢者が生涯現役で地域活動にも大きく貢献。

酒谷むらおこし株式会社（道の駅酒谷）

宮崎県日南市大字酒谷甲1840番地4

Tel : 0987-26-1051 Fax : 0987-26-1053

株式会社 サンライフ

ジビエ捕獲食用加工販売の6次化地域おこし



ジビエ食品加工工場



鹿肉カレー（玄米スナック付）



ライフジビエカレー

取組概要

- H27に当社設立。ジビエの解体、加工工場を建設し、ジビエ加工品の製造販売に着手。
- ジビエ肉が牛、豚、鶏に対するアレルギー患者に有効とことから、アレルギー改善効果のある乳酸菌を配合した鹿肉カレーを開発・製造。
- 有機無農薬の玄米を高熱、高圧で焙煎した「玄米スナック」を開発。ジビエカレーとセットで販売。

活動成果

- 玄米スナックにかけて食べる鹿肉カレーがH29年のフードアクションニッポンアワードに入選。注文が増加。
- 猪、鹿、穴熊の3つのジビエに乳酸菌（加熱乳酸菌）を配合して作った「ライフジビエカレー」の新商品を開発
- さらに、「ジビエの燻製、鹿節、味噌漬け、ニンニク醤油漬け」を商品化し、子供や出産計画中の女性向けに機能性のある食品として販売する計画。

株式会社 サンライフ

宮崎県小林市野尻町三ヶ野山4249番地 Tel: 0984-44-3999 Fax: 0984-44-1999

Hinata・あぐりんぬ

女性力を活かして、地域農業を元気に！



農業機械研修in農業大学校



女性の就職フェア@JA・AZM

取組概要

- 宮崎県内の女性農業者15名で組織。自主的な学修会開催の他、全国農業担い手サミット等県外研修会にも参画し、資質向上を図っている。
- 農高生や農大生に対する講演や農業機械研修、料理実習等を実施。
- 宮崎県内でのマルシェ出店、県外量販店での販売や料理講習実施等により、多くの消費者に宮崎県農産物の魅力を発信。

活動成果

- 孤立しがちな若い女性農業者の情報交換や学修の場ができ、経験で培った生活や仕事の知恵を共有。
- マルシェやイベントに積極的に参加し、女性農業者の視点で宮崎農産物の魅力を発信し続けている。
- 若い女性農業者の講演・体験談等から、農高生や農大生等に具体的な農業の魅力を伝えることで、就農意欲の啓発につながっている。

Hinata・あぐりんぬ

<事務局> 宮崎県農政水産部 農業経営課 農業担い手室 TEL:0985-26-7214

ざいこうじ 財光寺農業小学校

さあ、広げよう 農業小学校



毎登校日に行う作業前の朝礼



農業小便利での避難訓練報告

取組概要

- 地域の子どもたちに自ら土に触れ汗を流し収穫の喜びを実感させるため、農業経験者や退職者が中心となり、H21年に開校。
- 農業への感謝の気持ちを養うため、入校条件は、①収穫野菜をご先祖に供えること、②苦手な野菜を育てること、と設定。シニア世代も受け入れ。
- 作りたい野菜を作る「個人農園」とみんなで作る「共同農園」で育てる。

活動成果

- シニア世代も対象としたことから、世代間の交流の場や高齢者の生き甲斐の場が形成。視察も多く、他地区へ波及。市内外で3校が開校。
- 季節ごとに多品種の栽培を指導、苦手意識を解消させると共に、農家の苦労と食物の尊さを体感させている。
- JAからボランティア人員や肥料を、地元養鶏企業からは鶏糞の提供を受ける等支援の輪が広がっている。

財光寺農業小学校(日向市役所農業畜産課)

宮崎県日向市本町10番5号

Tel :0982-52-2111

Fax :0982-52-1455

くしま
串間エコツーリズム推進部会

黒潮のぞむ野生馬の草原でゆったり南国時間



都井岬馬追い体験



在来馬シマちゃん触れあい体験



香港からの定置網体験参加者

取組概要

- 自然環境や農村文化、農水産品を活かした体験プログラムの開発や体験型宿泊施設の拡大等を推進。
- 体験プログラムとしては、日本在来馬と共に農村の暮らしを簡易宿所で体験できる「在来馬シマちゃん触れあい体験」、完熟すると3日しか日持ちしない貴重なグアバを収穫・まるかじりする「南国グアバ狩り&まるかじり体験」を開発。

活動成果

- 「在来馬シマちゃん触れあい体験」と「南国グアバ狩り&まるかじり体験」が開発され、体験型の宿泊施設（簡易宿所営業許可）も新たに2件開業。
- 既存メニューの定置網体験において、始めて香港の個人客から申込みがあり、インバウンドの受入が実現。
- また、伝統的な生活文化の「都井岬馬追い」ツアーでは、東京、神奈川等全国からの参加者で賑わった。

串間エコツーリズム推進部会（串間市商工観光スポーツランド推進課内）
宮崎県串間市大字西方5550 Tel: 0987-72-1111 Fax: 0987-72-6727

株式会社くしまアオイファーム

小芋で世界へ～強い農業はこえていく～



本社事務所と集出荷貯蔵施設（左上）



地元高校生と苗植え（農業体験）

取組概要

- 元々は青果用さつまいもの生産農家。H23年より市場出荷から小売店との直接取引に移行。H24年にシンガポールへ初輸出、H25年には香港と台湾にも輸出を開始、同年に法人化。
- 日本産さつまいもは安心・安全のイメージで、海外の評価は高く、また小ぶりのサイズのサツマイモ需要が高いことから意図的に小ぶりさつまいもを栽培する「小畝密植栽培」法を開発・実践。

活動成果

- 自社生産と地元契約農家との連携によりH29年には年間輸出実績1,000tまで拡大。
- H29年の雇用者数68名、給与支払額1億4,200万円、契約農家への支払額は3億1,400万円にのぼり、地域経済の活性化、地域創生に大きく貢献。
- 引き続き、国内と海外への出荷を拡大し、3年後には総出荷量5,000t、海外輸出量1,500tを目指す。

株式会社くしまアオイファーム
宮崎県串間市大字奈留6564-12

Tel: 0987-71-2117 Fax: 0987-71-2118

きりしま 霧島会

産地復活！ 国内需給率0.1%への挑戦！



県内外から視察も多く、生産拡大に貢献



町商工会が立ち上げた
「みまたんごまプロジェクト」

地元高校との連携が生んだ
ごまを使った丼

取組概要

- 定年退職者が「ごま」の産地復活に向け、H20年に有志12名で栽培開始。
- 当地にあった栽培方法を試験研究。新規生産者向け栽培マニュアルの作成や研修会を開催。品質向上や作業軽減化等に取り組んだ。生産者の拡大に向け、テレビや新聞等で情報発信。
- 会員農家が加工施設を整備し、加工品開発に着手。商工会が事務局となりプロジェクト委員会を組織。東京での商談会や県外での物産展に出展。

活動成果

- 発足当初12名だった会員も、45名に増加し、栽培面積も着実に拡大し、H30年は9ha。
- 国内需給率0.1%の国産ごまの取り組みは多くのマスコミが取り上げ、高齢化や鳥獣被害にも効果的で市場性も高いことを紹介した結果、本町以外にも都城市や宮崎市、小林市等県内各地でも生産者が拡大。
- 県外の小売店や飲食店、加工業者の利用も増加。

霧島会

宮崎県北諸県郡三股町樺山1185-2

Tel: 0986-52-4125

Fax: 0986-52-4125

あや ゆ がく 綾結い学アーカイブス

綾町の自然共生理念を国際規格へ！



食養講座の座学風景



食養講座の調理実習



夏休みの体験農業研修

取組概要

- H28年設立。自然と食と身体はつながっていることを座学や調理実習で学ぶ「食養講座」を毎月開催。大人向け自然農体験教室、都市部の子供達を対象とした夏休みの体験農業研修等を実施。
- 地元の若い世代及び観光客を対象とした農業・食・ものづくりをテーマとした都市農村交流イベントを開催。高齢者の健康づくり講座等も開催。

活動成果

- 自然生態系農業や豊かな食の提供者等の育成のための各種教室、地元や都市部の子供達を対象とした体験農業や農業・食・ものづくりをテーマとした交流イベント等の開催で交流人口が増加。
- 食養講座が地元新聞社に取り上げられ、交流受入れ団体として認知され、県外からの研修・合宿のコーディネート依頼が増加。

綾結い学アーカイブス

宮崎県東諸県郡綾町大字南俣303-4

Tel: - Fax: 0985-77-2238

そめがおか

染ヶ岡地区環境保全協議会

きゃべつ畑のひまわり祭り



上空から見たひまわり迷路



ひまわり畑の花見台

染ヶ岡台地のキャベツ畑

取組概要

- きゃべつ・白菜の産地。H22年発生
の口蹄疫により、元肥として施肥して
いた堆肥の持ち出しができなくなった
ことから、緑肥としてひまわりを活用。
- ひまわり植栽は年々拡大。活動5年
目のH26年以降、80haの植栽を継続。
- 広大なひまわり畑を活かし、人を呼
び込むため、ひまわり迷路や花見台
を設置するとともに、見頃を迎える8
月中旬の土日に「きゃべつ畑のひま
わり祭り」を毎年開催。

活動成果

- ひまわり植栽は景観だけではなく、
後作のリン酸吸収の促進効果とキャ
ベツの連作障害回避に効果がある。
- 新聞、TVでも取上げられ、インター
ネットでも情報を発信。祭りには全国
から毎年1万人程度が訪れ、町、商
工会、観光協会等各種団体も参画
する町を挙げたイベントに定着。種ま
きイベントやポスターのデザイン等で女性
農業者が活躍。口蹄疫からの復興・
再生の象徴的存在となっている。

染ヶ岡地区環境保全協議会(高鍋町産業振興課)

宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437番地

Tel :0983-26-2021

Fax :0983-23-6303

しきさい 四季彩のむら

昭和30年代の風景が残る彩りあふれる里山



稲刈り終了、お疲れ様でした。



田んぼアート



彩りリレーマラソン

取組概要

- H13年、町の「四季彩のむら整備事業」を活用し、地権者12名で「四季彩むら」を設立、昭和30年代の農村風景を残すことをコンセプトにむらづくり。
- 石積みの棚田で春はレンゲや菜の花、夏は水稻、秋は稲穂の掛け干しやソバなど昔ながらの四季の景観を再現。地域住民や来訪者に環境学習と安らぎの場を提供。
- 「田植え・稲刈り体験」、「彩りリレーマラソン」、「田んぼアート」などのイベントも開催。

活動成果

- イベントの開催により来訪者を呼び込むことで、地域内の温泉施設の利用者の増加や、「高鍋湿原」の見学者の増加など、相乗効果が見られる。
- 近隣の加工体験施設「たかなべ食彩工房」においても、コメの精米・製粉、ソバの製粉及び料理教室等の開催で、集客に効果を上げている。
- 今後も四季彩のむらを基点に、老若男女問わず楽しめるイベントを開催し、周辺地域の活性化につなげる。

四季彩のむら

宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437番地

Tel :0983-26-2021

Fax :0983-23-6303

おがわさくごやむら
小川作小屋村運営協議会

平成の桃源郷 小さな村の大きな挑戦！



メインメニューおがわ四季御膳<1300円>



月の神楽

取組概要

- 人口107名、高齢化率70%以上の地区。レストラン「おがわ作小屋村」にて、地元の食材で地元のおばちゃん達が食事を提供。メイン料理「おがわ四季御膳」は、多いときは1日100食以上提供。月ごとに料理内容が変わるため毎月食事に来る人も多い。
- 作小屋村の前の山林を花見山に整備中。これまで桜を中心に約8,000本の花木を植栽。また、アクセス道路の県道沿線に、「桃源郷」の入口らしくハナモモを植栽。

活動成果

- 地域イベントとして毎年5月の「カリコボーズの山菜まつり」、中秋の名月の頃の「月の神楽」を企画・運営。また、大型バスツアーも受入れ、年間の店舗来店者数は約1万8000人。
- 事業開始からUターン・Iターンが20名移住。若い力が入ってきたことで地区に活気が戻ってきた。また、店舗の売上から毎年約1500万円が給与・賃金・物販販売代・食材仕入代として地域に還元。

小川作小屋村運営協議会

宮崎県児湯郡西米良村大字小川254

Tel :0983-37-1240 Fax : 同左

むらしょ

村所女性部いとまき倶楽部

生涯現役！伝統野菜の加工品でむらおこし



集合写真 加工所前にて



加工品原材料の収穫の様子



加工品の製造の様子

取組概要

- H23年設立の女性グループ。米良系巻大根・ゆず等を使った漬物、うめぼし、よもぎ団子等の加工品を製造。
- また煮しめ、山菜おこわ、お寿司、おはぎ等総菜を村内外のイベントで販売。毎週火曜日に弁当販売も実施。
- 原材料は、原則村内で生産されたものを使用。米や野菜は会員が生産したものを買い上げ。ウメとシソは、未利用農地で共同の管理・収穫を実施。

活動成果

- 加工品等の製造販売活動、イベントへの参加など高齢者・女性の活躍により村のスローガンである「生涯現役・元気村」を体現。
- 米良系巻大根は西米良村の伝統野菜であり、加工品ができたことで利用の幅が広がり、生産も拡大。
- 原材料の会員からの買取りや共同栽培で、農地の維持、農家の所得向上にも繋がっている。

【問合せ先】西米良村農林振興課
宮崎県児湯郡西米良村大字村所15番地

Tel: 0983-36-1111 Fax: 0983-36-1207

チームがはは

できたよ～！ 浜うどん



販売の様子 宮崎ブーゲンビリア空港にて



食育 小学校での出前授業



特定健診の受診者への振る舞い

取組概要

- H22年の口蹄疫からの復興を目指し、地元JA・漁協・商工会等の異業種の女性グループ(10名)が「東児湯鍋合戦2010」に鍋メニューを作り、参戦したのが活動の始まり。
- H23年の鍋合戦に、魚を練り込んだ麺に改良し再挑戦し、優勝。郷土食の麺とするため、地魚シイラを使って改良を加え、H24年に現在の「浜うどん」が誕生。長期保存麺を開発。地域の飲食店及び直売所で販売。現在、年間約1万食を製造・販売。

活動成果

- 優勝を機に「浜うどん」を地元メディアにPRすることで、県民にアピールできた。川南名物「シイラ」の使用で地産地消に繋がった。
- また、乳性カルシウムを加えて栄養価の高い麺に仕上げ、学校給食や離乳食、お年寄りの施設等にも活用。
- 長期保存麺としたことで、地域の飲食店、直売所での販売並びにふるさと納税の商品としても販売可能に。

チームがはは

宮崎県児湯郡川南町大字川南13680番地1 Tel :0983-27-8014 Fax :0983-27-5879

ど が わ さ ん そ ん

渡川山村商店

山と街を繋いで、地域を持続させたい！



原木しいたけオーナー制度 植菌体験イベント



若草HUTTE



ご当地グルメコンテストで準グランプリ 鹿肉エベレスト丼

取組概要

- 農林業の傍ら地域の農産物を直接販売するインターネットショップをH24年開設。H28年から原木しいたけオーナー制に着手。体験もセットで販売。
- 山と街を繋ぐ直売所＆カフェ＆コワーキングスペース「若草HUTTE」を、宮崎市中心市街地にオープン。
- 鹿肉を活用したジビエ料理を提案。県内最大のグルメコンテストに出品。若草HUTTEでもジビエ料理を提供。

活動成果

- 原木しいたけオーナー制度の体験イベントにより、人口350名の村に1年で100名以上が参加。
- 若草HUTTEのオープンにより、地域で生産する農産物が直接街で販売されるようになり生産者の所得が向上。
- ジビエ料理の販売促進活動が認められ、H30年度町内にジビエ食肉加工処理施設が完成予定。新たな地域経済を踏み出す事となる。

渡川山村商店

宮崎県東臼杵郡美郷町南郷上渡川280

Tel: - Fax: -

株式会社ひのかげアグリファーム

次世代へつなぐ美しい故郷ひのかげ



取組概要

- 町全域で、条件不利地に立地する農用地の耕作や作業請負の受け皿となるため、町出資によりH28年に当社を設立。H29年より本格稼働。
- 中山間集落協定や地域担い手との連携によって、水稻の基幹作業を中心に各種農作業を受託。
- 施設トマトを中心に野菜、果樹等生産。ノウハウを蓄積し新規就農希望者の研修施設としての機能を目指す。

活動成果

- H29年度は田植え5ha、稲刈り11haを受託するなど作業受委託体制が強化され、休耕田の復旧など、特に条件不利地の農用地維持が可能となった。オペレーターの新たな雇用を生み出すことができた。
- 継続して農地を維持する体制を確立し、中山間地域等直接支払制度の継続的な取組を可能とすることができた。

株式会社ひのかげアグリファーム

宮崎県西臼杵郡日之影町大字七折2610-11 Tel: 0982-73-8030 Fax: 0982-73-8033

おおひと

大人発電農業協同組合

「すげえ～、ふるさと！」



明治期に計画・開削された用水路の頭首工



伝統建築の石蔵を再利用した発電所



大人発電農協の皆さん

取組概要

- 山腹水路(延長10km)を活用した小水力発電事業を行うため、大人集落の農家53戸で当組合をH28年に設立。
- 事業費約1億円のほとんどを金融機関から調達して事業化。平成29年11月から売電事業を開始。
- 売電収益により用水組合の賦課をなくし、九州唯一の農村歌舞伎や町内唯一の夜神楽などの伝統文化活動を支援。

活動成果

- 農業用水を活用して小水力発電所を建設し、その収益で用水の安定的な維持管理が可能となった。
- 集落に残る伝統芸能の継承等を支援し、公民館活動の充実した地区を目指した活動を実施。
- 建設時のアドバイザーである九州大学や電力会社と連携し、建設後も地区の祭りに参加してもらうなど、都市との交流人口が増加。

大人発電農業協同組合

宮崎県西臼杵郡日之影町大字岩井川2382番地1 Tel:0982-87-3585 Fax: 同左

特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校

何でもやります！自然学校が過疎を止める！



取組概要

- 町内の若手中心の組織。自然、資源、人を最大限に生かした地域づくりを行うため、農林業、エコツーリズム等を組み合わせた事業を展開。
- 地元小学校の児童全員に放課後毎日、農作業、昔遊び、自然体験など生きる力の教育を地域住民が行う「放課後子ども教室」を実施。
- 農業法人設立。地元産米を「四億年の大地」、復活させた左近太郎精米の米を「負け知らず」という名で直売。

活動成果

- 「放課後子ども教室」は14年目、毎年30名程度を維持。五ヶ瀬川流域の子ども達を対象に、季節に応じたキャンプも年34回開催。680人程度が参加。
- 「四億年の大地米」は9t程度の販売量で安定。法人の農業経営に従事する移住者に子供が生まれるなど活性化に貢献。耕作の依頼も増加。
- 熊本地震災害支援活動の仕組みや繋がりを活かし、高千穂郷・椎葉山地域の支援活動にシフト。

特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校

宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字鞍岡6452乙

Tel :0982-73-6366

Fax : 同左

(株)藤木石油店・ぎおんアグリママ

あなたに届け、宮崎より「四億年のめぐみ」



展示会 団体名は4億3千年前の化石が出土する「祇園山」に因む



自社ブランドトマト



オリジナルトマトソース
〜トマトとジビエ

取組概要

- 自社農園で加工調理用専用品種栽培に着手し、国産のイタリアントマト生産とそのトマトで作る無添加のトマトソースを開発。
- ジビエの有効活用として、ワインに合う加工品開発に取り組み、ジビエ入りのオリジナルトマトソースを開発。
- ソース製造で培ったイタリア料理の知識を活かし、地域食材を使った料理教室を開催。

活動成果

- ソース専用の品種で作ることによって他のトマトでは出来ないコクと旨みのあるトマトソースが完成。贈答品を扱う大手企業との契約に成功。
- 地域食材を使った料理教室の開催は口コミで広がり企業間・行政間での連携開催も生み出している。
- 地域資源を活かしたオリジナル性に共感するホテルやレストラン等とのコラボイベントの開催等に結びついた。

(株)藤木石油店・ぎおんアグリママ

宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字鞍岡1473-18 Tel: 0982-83-2017 Fax: 0982-83-2957